

# 枚方教育

No. 1845  
2020. 10. 2

枚方教職員組合  
枚方市西禁野一丁目三  
TEL 八四八・三三〇〇  
FAX 八四八・三〇五二

## ここまで来た！ 少人数学級実現へ、「教育全国署名」広げよう 枚方市議会、全会一致で意見書採択 文科省、30人学級の「試算」、予算要求へ

### 枚方市議会 意見書採択！

9月23日(水)の枚方市議会で「少人数学級編成の実現を求める意見書」が全会一致で採択されました。今までも提出されてきましたが、議会での賛同がたりず、採択に至っていませんでした。

しかし、今回はすべての会派が賛成し、全会一致での採択となりました。

感染の中でも安心できる少人数学級に注目が集まり、分散登校の少人数での落ち着いた子ども達の様子も実感されて、実現のための動きが地方議会からも広がっています。

### 「30人学級」導入、具体的な試算 予算要求へ

9月24日には自民党の教育再生実行本部は「30人学級導入」の提言を文部科学省に申し入れ、学級定員の法改正と、来年度予算に盛り込むことを要請しました。

文科科学省も「30人学級」を念頭に来年度予算に盛り込むことを決め、実現のため8〜9万人の教員増が必要との試算を示しています。

公明党も、30人学級導入を求める決議決めており、与党側からも文科省もかつてないスケールで、実現に向け具体的な動きが進んでいます。

実現まで、あと少しのところまでやってきています  
**全国教育署名を広げ、今度こそ実現を**

今後、正式に来年度予算に盛り込まれることが焦点になります。財源を巡り政府内でも反対論もある一方、萩生田文科大臣が菅首相の「ぜひすすめてくれ」とのやりとりを紹介しています。

実現に向けて、国民的な大きな世論の広がりがカギを握ります。  
30人以上にわたり枚方教組が保護者、市民団体と取り組んできた、「教育全国署名」も

## 9/19 教育のつどい大阪 2020 全体会

### 寮美千子さん 「子ども達の心を開く 物語の教室」

9月18日「教育のつどい大阪 2020」では、「子どもたちの心を開く 物語の教室」というテーマで寮美千子さんによる講演が行われました。

寮美千子さんは、奈良少年刑務所で10代20代の若者に「社会性涵養プログラム」の一環として、詩や童話の読みあひなどを行ってこられました。

「元の生活に戻った時に、生活できるようにしたい。人権を守りたい。」という思いを持って取り組んでいたそうです。

講演を聞いて印象に残ったのは、「自己表現・感情を出すことが大切」という言葉です。

どんな人にも根本には優しさがある。だから本来の自分でもよく、あなたがあなたらしく生きれば良いと感じることが大切だと伝えていました。その人の悲しみ・苦しみなどありのままを受け止めてあげられるようになってほしいとおっしゃっていました。

今の子どもたちもいろんな不安の中で必死に生きています。いろんな思いがある中で、考えながら生きています。だからこそ、その子どもたちがありのままを出せるような空気を作っていきたいと思いました。



今年「20人学級実現」を中心にかかっています。署名を大きく広げ、保護者や市民、職場のすべての教職員の力を合わせて、今度こそ実現させましょう。

小学校は運動会練習、中学校は修学旅行など忙しい中でしたが、久しぶりの会議を交流も兼ねて金曜日に設定しました。  
「大幅に減らされた夏休みが終わり、2学期が始まったが、水曜日の6時間授業や7時間授業が増え、体調不良を訴えて不登校になったり、教室から飛び

出したりする子どもが増えている。」「内容を縮小された運動会では、取り組みが難しい。」「オンライン授業に向けて、タブレットの研究が次から次へ入ってくるが、それより教材研究の時間が欲しい。」「とにかく人が足りていない。軽減なしは苦しい。」「土曜授業の振替は一体いつ取れるのか。」

など、学校現場の大変な様子が語られました。  
このような状況を変えるには、少人数学級の実現しかないということで、教育全国署名への積極的な取り組みを参加者全員で確認しました。  
コロナ禍の中で、なかなか集まることは難しいですが、集まって話すことが大切であることを改めて感じた会議でした。

## 9/18 分会長会議で職場交流 みんなであつまって、直接しゃべりたい 多忙化なんとかできない 授業・行事どうしたらいい？

